

(1) 施策の外部評価の結果 【第5回】

基本政策	災害に強い安全なまちづくり
施策展開の方向	災害から市民の命を守るまちをつくる
施策	15：被害を最小限に抑える減災対策の推進
目標とする状態	●大規模な地震などの災害が発生しても被害や生活への影響を最小限に抑えられています。

施策の達成状況 ：A～D	第1分科会の 評価結果	施策の達成状況に関する各委員の判断理由・意見				
	C 計画より遅れている	<ul style="list-style-type: none"> 公共下水道汚水管の耐震化率が目標値を下回っている。 下水道施策の耐震率が目標値をだいぶ下回ってしまっている。また、木造住宅の耐震化促進について、利用状況が低いと思う。 下水道施設の耐震化率に係る目標値は下回っているが、着実に整備は進んでいる。 主な事業の目標達成状況について、一部達成できていないものがある。 				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
	C	C	C	C	C	
	計画より遅れている	計画より遅れている	計画より遅れている	計画より遅れている	計画より遅れている	
計画事業の構成 に関する評価 ：a～c	第1分科会の 評価結果	事務事業の構成に関する委員の判断理由・意見				
	b 概ね妥当である	<ul style="list-style-type: none"> 事業自体の内容はどれも大切で必要なため、このまま進めてほしい。 				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
	b	b	b	b	b	
	概ね妥当である	概ね妥当である	概ね妥当である	概ね妥当である	概ね妥当である	
市民意識の反映 ：A～C	第1分科会の 評価結果	市民意識の反映に関する委員の判断理由・意見				
	B 概ね反映されている	<ul style="list-style-type: none"> ニーズの充足がされていない。市民の要望をどこまで達成するか検討すべきだと思う。 満足度は前回よりやや改善されているにしても、依然低いため概ね反映されているとは言えないと思う。 市民意見では、浸水被害に関する意見が多い。 市民の関心が高く重要度も高いが、満足度が低いのは整備事業の達成率の低さが反映されていると思われる。生活に密接に関わるため、さらなる事業の推進が望まれる。 				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
	B	C	B	B	B	
	概ね反映されている	反映できていない	概ね反映されている	概ね反映されている	概ね反映されている	
課題の捉え方 ：A～C	第1分科会の 評価結果	課題の捉え方に関する委員の判断理由・意見				
	A 課題の捉え方が 的確である	<ul style="list-style-type: none"> ハード面での計画的な老朽化対策や、耐震化対策は引き続き必要だと思う。また、予測不能な事態に対する備えもしなければならない。 木造住宅の耐震診断、改修工事の補助制度の周知や相談に努めることが必要だと思う。 各地の災害も踏まえ検討されており、水害・耐震化に対しては対処されているが、木造住宅密集地などの延焼対策もお願いしたい。 耐震化率の目標達成値が高くなったことに対する対応が必要となるため、予算の拡大が重要だと思う。 				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
	A	A	A	B	A	
	課題の捉え方が 的確である	課題の捉え方が 的確である	課題の捉え方が 的確である	課題の捉え方に一部 不足が見られる	課題の捉え方が 的確である	
施策の方向性 ：A～D	第1分科会の 評価結果	施策の方向性に関する委員の判断理由・意見				
	A 拡大して実施	<ul style="list-style-type: none"> 減災に対する意識啓発、ハザードマップの周知などがさらに必要と考える。 財政と連動した施策となるため、計画的なハード対策を引き続き望む。また、木造住宅に対する補助金制度の見直しについては、市民に不公平感を与えないよう考慮してもらいたい。 減災対策の推進のため、公共下水道、公共施設、木造住宅の耐震化、浸水被害軽減のための整備工事は継続すべきだと思う。 方向性としては良いと思う。このまま実施してほしい。 浸水軽減、雨水などのハード面対策の実施、自助意識の向上を図ることが必要だと思う。 				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
	A	A	B	A	A	
	拡大して実施	拡大して実施	継続実施	拡大して実施	拡大して実施	

(1) 施策の外部評価の結果 【第5回】

基本政策	暮らしの安心がひろがるまちづくり
施策展開の方向	暮らしの安全を守るまちをつくる
施策	16：地域とともに取り組む防犯対策の推進
目標とする状態	<ul style="list-style-type: none"> ●多くの人たちが、健康づくりのための体力づくりや食生活改善に取り組むようになっていきます。 ●自ら進んで健康診査や検診を受診し、健康状態の確認ができています。

施策の達成状況 ：A～D	第1分科会の 評価結果	施策の達成状況に関する各委員の判断理由・意見				
	B 計画どおりの成果 が得られている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 犯罪の発生件数等は減少している。 ・ 自治会を中心とした、地域住民による防犯パトロール、夜間パトロール等が実施され、市内の犯罪認知件数は激減しており、大きな成果である。また、LED防犯灯への交換もできている。 ・ 街頭犯罪の発生件数の減少、防犯灯の高照化率の指標が達成できている。 ・ 防犯灯の高照化率の増加に伴い、街頭犯罪率が減少しているため成果が出ているが、パトロール実施回数など目標に達していない施策もある。 				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
	B 計画どおりの成果 が得られている	A 計画以上の成果が 得られている	B 計画どおりの成果 が得られている	B 計画どおりの成果 が得られている	B 計画どおりの成果 が得られている	
計画事業の構成 に関する評価 ：a～c	第1分科会の 評価結果	事務事業の構成に関する委員の判断理由・意見				
	b 概ね妥当である	<ul style="list-style-type: none"> ・ 概ね目標を達成している状況にある。 ・ 目標に達成していない施策もあるため、実施回数や参加人数の増加の工夫を考える必要がある。 				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
	b 概ね妥当である	b 概ね妥当である	b 概ね妥当である	b 概ね妥当である	b 概ね妥当である	
市民意識の反映 ：A～C	第1分科会の 評価結果	市民意識の反映に関する委員の判断理由・意見				
	A 反映されている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯灯の設置について、市民の要望も多いため、引き続き対策をしていく必要があると考える。 ・ 市民意見の多くが防犯カメラの意見になっている。防犯灯のLED化実現により、今後は市民の満足度も多少上がるのではないかと。 ・ 重要度、満足度ともに平均以上である。市民意見として、街灯が少ない、暗いという意見が多いが、改善されてきている。 ・ 市民意識調査における市民の重要度は高いため、まだまだ防犯カメラや街灯の明かりの要望はあるように感じる。 				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
	B 概ね反映されている	A 反映されている	A 反映されている	B 概ね反映されている	A 反映されている	
課題の捉え方 ：A～C	第1分科会の 評価結果	課題の捉え方に関する委員の判断理由・意見				
	A 課題の捉え方が 的確である	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯灯の新規設置要望を含め、地域の整備状況のバランスや、公平性を確保しながら、犯罪の起きにくい環境整備をお願いしたい。 ・ 地域全体での防犯対策、防犯灯の整備、空き家の管理等の対策が必要だと思う。 ・ 街頭犯罪の発生率の減少など成果は上がってきているが、地域防犯拠点や防犯活動など目標に達していない部分があるため、なお一層防災拠点の充実や地域の活動を促進してもらいたい。 				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
	A 課題の捉え方が 的確である	A 課題の捉え方が 的確である	A 課題の捉え方が 的確である	A 課題の捉え方が 的確である	A 課題の捉え方が 的確である	
施策の方向性 ：A～D	第1分科会の 評価結果	施策の方向性に関する委員の判断理由・意見				
	A 拡大して実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政と地域の住民が連携し、取り組む必要があると考える。 ・ 空き家の実態把握を早急に行い、活用等の対策を推進していくことが必要と考える。 ・ 防犯カメラの設置、犯罪の抑止力となる活動が重要である。 ・ 防犯拠点の充実を図るとともに、防犯に対する意識を高め、お互いが見える活動を増やしてほしい。 				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
	A 拡大して実施	A 拡大して実施	A 拡大して実施	A 拡大して実施	A 拡大して実施	

(1) 施策の外部評価の結果 【第5回】

基本政策	暮らしの安心がひろがるまちづくり
施策展開の方向	暮らしの安全を守るまちをつくる
施策	17：迅速で的確な救急・消防力の強化
目標とする状態	●火災や急病・事故などに迅速かつ適切な対応ができ、市民が安心して暮らしています。

施策の達成状況 ：A～D	第1分科会の 評価結果	施策の達成状況に関する各委員の判断理由・意見				
	B 計画どおりの成 果が得られてい る	<ul style="list-style-type: none"> 消防通信、指令体制の維持強化が図られている。消防水利施設等の整備についても、ほぼ計画どおりである。 消防水利の充足率が目標達成している。 消防水利の充足率、デジタル化、指令センター整備の目標は既に達成されており、その他の事業についても達成見込みである。 				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
	A 計画以上の成果が 得られている	B 計画どおりの成果 が得られている	B 計画どおりの成果 が得られている	B 計画どおりの成果 が得られている	B 計画どおりの成果 が得られている	
計画事業の構成 に関する評価 ：a～c	第1分科会の 評価結果	事務事業の構成に関する委員の判断理由・意見				
	b 概ね妥当である	<ul style="list-style-type: none"> 消防通信、指令体制の維持強化が十分図られた。 事業の手法としては有効と考えられているため、事業の構成は適切であると考ええる。 				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
	a 適切な構成である	b 概ね妥当である	b 概ね妥当である	a 適切な構成である	b 概ね妥当である	
市民意識の反映 ：A～C	第1分科会の 評価結果	市民意識の反映に関する委員の判断理由・意見				
	A 反映されている	<ul style="list-style-type: none"> 市民の満足度も高く、ニーズが充足されている。 施策の達成状況が計画どおりであり、消防、救急整備体制に対する市民の満足度は非常に高く、生活の中での安心感が高いと思う。 重要度、満足度ともに高い数値となっている。 救急体制の充実や消防施設の配置の充実が求められている。 				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
	A 反映されている	A 反映されている	A 反映されている	A 反映されている	A 反映されている	
課題の捉え方 ：A～C	第1分科会の 評価結果	課題の捉え方に関する委員の判断理由・意見				
	A 課題の捉え方が 的確である	<ul style="list-style-type: none"> 消防力体制の強化、維持が必要だと思う。 市民意識を反映したうえで、救急、消防体制の迅速化を進めている。また、第二東名ができることを想定した対策も考えている。 大規模災害時における、市役所災害対策本部と消防本部、広域自治体との連携に向けた体制強化が必要だと思う。 				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
	A 課題の捉え方が 的確である	A 課題の捉え方が 的確である	A 課題の捉え方が 的確である	A 課題の捉え方が 的確である	A 課題の捉え方が 的確である	
施策の方向性 ：A～D	第1分科会の 評価結果	施策の方向性に関する委員の判断理由・意見				
	A 拡大して実施	<ul style="list-style-type: none"> 広域幹線道路開通に伴う、予測される事態に対し、さらなる対策の検討をお願いしたい。また、地域の消防団員確保が今後の課題である。 広域幹線道路開通に伴う、資機材・人員の整備、強化をお願いしたい。設備だけでなく、施設・人員の整備も重要であると思う。 第二東名開通に伴う消防力の充実を図ってきたが、今後は人的配備など新たな強化策が必要である。 消防署本署施設の整備、災害別の避難所設置を行うことが必要となってくると思う。 				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
	A 拡大して実施	A 拡大して実施	A 拡大して実施	A 拡大して実施	A 拡大して実施	

(1) 施策の外部評価の結果 【第5回】

基本政策	暮らしの安心がひろがるまちづくり
施策展開の方向	一人ひとりが大切にされるまちをつくる
施策	18：互いに尊重し合うまちづくりの推進
目標とする状態	<ul style="list-style-type: none"> ●すべての人が性別に関係なく、自らの意思により社会の様々な分野で活躍しています。 ●誰もが虐待されることなく、おだやかな日常生活を送っています。 ●戦争の悲惨さが語り継がれ、市民一人ひとりが平和の尊さを理解しています。

施策の達成状況 ：A～D	第1分科会の 評価結果	施策の達成状況に関する各委員の判断理由・意見				
	B 計画どおりの成果 が得られている	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業とも適切な対応に努め、計画どおりの成果が得られている。また、要保護児童対策や虐待防止について、庁内各課、関係機関との連携が適切にとれており、迅速な支援ができています。 ・各種審議会の女性委員の割合、平和推進に関する事業は目標達成できている。児童虐待防止支援終了率は目標達成していないが、概ね順調に進捗が見られている。 				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
		B 計画どおりの成果 が得られている	B 計画どおりの成果 が得られている	B 計画どおりの成果 が得られている	B 計画どおりの成果 が得られている	B 計画どおりの成果 が得られている
計画事業の構成 に関する評価 ：a～c	第1分科会の 評価結果	事務事業の構成に関する委員の判断理由・意見				
	b 概ね妥当である	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同フォーラムなどのイベントだけでなく、対象を絞った勉強会等を実施し、市民の理解を深めることが必要だと思う。 ・主な事業は、目標を達成している状況にある。 ・事業の有効性、効率性が高く、今後の方向性も良いが、実施水準が他市と比較し平均なので概ね妥当とした。 				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
		b 概ね妥当である	b 概ね妥当である	b 概ね妥当である	b 概ね妥当である	b 概ね妥当である
市民意識の反映 ：A～C	第1分科会の 評価結果	市民意識の反映に関する委員の判断理由・意見				
	B 概ね反映されて いる	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業を通して、男女共同参画や平和に対する一定程度市民の理解が深まり、意識付けが進んでいる。 ・満足度が平均を下回っており、前回調査よりも若干低下している。関係機関と連携して、さらなる周知を行うべきだと思う。 ・満足度、重要度ともに平均を下回っている。問題の重要性が浸透していないため、啓発活動を増やしてほしい。個人の意識が大きいと思うので、身近な地域での活動を推進してほしい。 				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
		C 反映できていない	B 概ね反映されている	B 概ね反映されている	C 反映できていない	B 概ね反映されている
課題の捉え方 ：A～C	第1分科会の 評価結果	課題の捉え方に関する委員の判断理由・意見				
	A 課題の捉え方が 的確である	<ul style="list-style-type: none"> ・在住外国人への対応についても、サービス案内の外国語表記を行うなどの対策をしていくべきではないか。また、在住外国人に向けたDV、虐待対策も必要だと思う。 ・男女共同参画の効果的な実施、虐待防止に向けた相談支援体制を実施すべきだと思う。平和推進事業では、あらゆる世代の市民に広く浸透する取組が必要である。 ・課題の捉え方としては的確であるが、虐待の問題に関しては相談員の意識の向上を図るとともに、関係機関との連携がスムーズになるよう努力してもらいたい。 ・イベントや研修会に頼らない形での日常的な取組が必要であると思う。 				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
		B 課題の捉え方に一部 不足が見られる	A 課題の捉え方が 的確である	A 課題の捉え方が 的確である	A 課題の捉え方が 的確である	A 課題の捉え方が 的確である
施策の方向性 ：A～D	第1分科会の 評価結果	施策の方向性に関する委員の判断理由・意見				
	B 継続実施	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な施策が混在している印象があるため、より具体的な施策として実施していく必要があると考える。 ・DV、児童、障害者、高齢者虐待の防止には、地域の力が必要となるため、さらなる啓蒙活動の推進が必要だと思う。 ・市民がお互いを尊重し、思いやれる地域社会の構築は大変素晴らしいと思う。この施策は継続してほしいが、より幅広い年代に啓蒙するため、学校教育においても取り組んでもらいたい。 ・相談支援の強化、相談員の資質向上が必要だと思う。 				
		各委員の評価結果				
		委員	委員	委員	委員	委員
		B 継続実施	B 継続実施	B 継続実施	B 継続実施	B 継続実施